

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒御査収のほどよろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

暦の上ではちょうど「大寒」にあたるそうです。どうりで毎日冷えるはず。みなさまはいかがお過ごしでしょうか？

私の故郷の近くに「大山祇神社」という、近隣では有名な神社があります。その奥の院の参道に「生樹の御門（いききのごもん）」とよばれる大きな楠があるという情報を年末にキャッチしました。何度か初詣に行ったことはありますが、奥の院があるということも知りませんでした。

「マンネリの帰省に楽しみを発見！」ということで、広島～愛媛間の離島をつなぐバスを途中下車することにしました。バス停から遠いので、父を呼び出して車で神社へ向かいました。

お正月前ということで、まだ静かな境内に入ると、拝殿の手前に「乎知命（おちのみこと）御手植の楠」という樹齢2600年と伝えられる御神木があり、国の天然記念物に指定されています。この木もすごく立派で、仙人のような佇まいです。

しかし今回の目当ては「生樹の御門」。お詣りもそこそこに境内の外に出て、民家とミカン畑にはさまれた路地を3分ほど歩くと「生樹の御門」が見えてきました。

なんともいえない迫力です。この迫力が写真から伝わるというのですが……。こちらは樹齢3000年とのことですが、生き生きとした大きな波動で、この木自体が神様のようです。

根本にぽっかり口をあけた洞の下は階段になっていて、くぐりぬけると、不老長寿のご利益があるといわれているそうです。写真では通り抜けるのも難しいような小さな穴に見えるかもしれませんが、少しかがめば余裕で通り抜けられる大きさです。辿り着くまでは億劫そうだった父も「境内の木より、こっちのほうが大きいなあ」と、心惹かれているようでした。すっかり魅了され、立ち去り難い気持ちでしたが、「会えてうれしいよ、長生きしてくれてありがとう。元気でね。また会おうね。」と挨拶をしてお別れしました。

皆様のところにも、生樹の御門のパワーが届き、2014年が素晴らしい一年になりますように！

大寒をすぎれば立春。春まであともう一歩です。
どうぞ御自愛くださいませ。



乎知命御手植の楠



生樹の御門

株式会社ユニコーン

大阪市中央区大手通 1-1-2

TEL.06-6943-4560 FAX.06-6920-5311